

2019年第1回千葉大学化学教育研究懇談会

2019年第1回化学教育研究懇談会を下記の要領で開催いたします。今回は、高等学校教育と大学教育の連携をテーマに、近年重要性の高まっている課題解決型の学習をどのように高等学校および大学での学びに取り入れて行けばいいのかを参加者皆さんで検討し意見交換をする会としたいと考えています。特に、高校側大学側からの提案実験教材を参加者の皆様とともに実際に実験し体験を重視した交流の場とする予定です。また、講演後簡単な懇親会を準備しておりますのでこちらにも是非ご参加下さい。

記

日時： 2019年7月11日(木) 17:00～19:00頃 講演会
19:00頃～20:00 懇親会(会費 500円)

場所： 千葉大学西千葉キャンパス・工学部4号棟・1階無機分析化学実験室
(次ページの地図を参照 南門からすぐです)

<プログラム>

1. 17:05～18:15 賀澤 勝利 教諭 (化学と教育「実験の広場」執筆担当・千葉県立流山南高等学校)
「この石は何でできているのだろうか？－高校化学教材の大学教育での展開可能性－」

様々な外観を有する天然鉱物は人々の興味を引くとともに、機械的・電氣的・光学的に様々な特性を示すことから教材としても様々な可能性を有している。今回は黄銅鉱について粉碎や電気伝導性の確認そして開管分析などを参加者とともに実施することで、物質の性質と構造の関係や定性分析による成分元素の確認や鉱物の同定方法の検討など高校化学の教材としてだけでなく大学での課題解決型実習課題としての展開可能性などについて参加者とともに意見交換などを行う予定である。

2. 18:15～19:00 上川 直文 教授 (千葉大学大学院工学研究院)

「亜鉛をキーマテリアルにした高校化学から先端研究に関わる実験教材の紹介」

酸化亜鉛は古くから顔料・抗菌材料などとして使われるとともに蛍光発光体・透明導電性材料など多様な電子光機能を有する先端材料でもある。高校化学でも扱われる水酸化亜鉛や亜鉛塩の加熱処理により酸化亜鉛ナノ粒子を合成しその蛍光発光特性や光触媒活性などを調べる実験を紹介し持続的に展開可能な課題研究テーマの紹介を行い参加者とともに高大で連携した研究展開の可能な課題研究の在り方についても意見交換を行う予定である。

※ 講演時間には質疑応答も含む

参加申込締切日：2019年7月4日(水)

参加申し込み方法：

以下の情報を上川まで E-mail(uekawa@faculty.chiba-u.jp)にてお送り下さい。

- ・お名前・学校名
- ・交通費支給希望の有無
- ・懇親会参加の有・無 (会費は500円です。)

担当者：

千葉大学大学院工学研究院共生応用化学コース
日本化学会関東支部幹事

上川 直文

E-mail: uekawa@faculty.chiba-u.jp

TEL&FAX: 043-290-3373

交通アクセス

JR 総武線 西千葉駅下車 3 分 もしくは 京成線 みどり台駅下車 10 分

